

平成28年第1回市議会定例会

平成28年3月1日招集

# 平成28年度施政方針

観音寺市長 白川晴司

## 平成28年度施政方針

本日、平成28年第1回市議会定例会の開会にあたり、新年度予算をはじめとする諸議案の提案に先立ち、市政運営に対する私の基本的な考え方と新年度に取り組む施策についてご説明申し上げます。

(はじめに)

本市は、昨年10月に新「観音寺市」として10年の節目を迎え、11月には、「合併10周年記念式典」を執り行うことができました。これもひとえに市民の皆さまのご支援、ご協力の賜であると、心から感謝申し上げます。

また、長年の懸案事項でありました市役所庁舎の建て替えが完了し、昨年5月7日に無事開庁を迎えることができました。私も気持ちを新たに「行政とは究極の市民サービスである」という信念に基づき、皆さまにより一層親しまれる市役所となるよう努めてまいります。

さて、平成27年は「地方創生元年」といわれ、全国で声高に地方創生が叫ばれ始めました。私は、これまで「ひとが元気、まちが元気、やさしさと元気印のまちづくり」という基本理念のもと、平成22年には、いち早く「観音寺市交流定住促進計画」を策定し、交流人口・定住人口の増加に取り組んでまいりました。加えて平成25年策定の「観音寺市総合振興計画後期基本計画」においては、「人口減少・少子化克服プラン」「人が集まるまちの再興プラン」「市民の力を結集するプラン」という3つの戦略プランを掲げ、市民の皆さまと対話を重ねながら「ひとづくり」「まちづくり」に取り組んできたところで

あります。

しかしながら、人口減少と少子高齢化の波は、我々の想像をはるかに超えた大きなうねりとなり、全国の地方自治体に押し寄せています。

先般の平成27年国勢調査の速報結果をみると、本市の人口は5万9,444人と6万人を割り込み、平成22年調査時の6万2,690人と比較して3,246人も減少いたしました。この数値は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値5万9,866人を下回る危機的状況であり、人口流出の抑制や少子化対策、新たな雇用の創出などの取り組みを「待ったなし」で押し進めていかなくてはなりません。

新年度においては、全国の全ての地方自治体が、地方創生に向けて、地域の特色を生かした具体的な取り組みを一斉に加速化させてまいります。本市にとりましても、平成28年度は「まち・ひと・しごと」の創生に向けて自ら考え、解決策を示し、実行していく能力の真価が問われる、重要な年であります。

観音寺市にとりまして、これまでの10年は、「ふるさととして誇りの持てるまちづくり」をめざし、市の一体感を醸成してきた10年でありました。私は、これからの10年を、輝かしい未来の観音寺市を創るために「挑戦」し続ける10年と位置づけ、諸施策に全力で取り組んでまいります所存であります。

(地方創生への挑戦)

観音寺市では、地方創生に向け新たに「挑戦」するため、昨年4月に政策部企画課内に「地方創生総合戦略推進室」を設置すると同時に、庁内組織である

「観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を立ち上げ、迅速に協議を進めてまいりました。

そして、これからの地方創生の旗印となる「観音寺市人口ビジョン」及び「観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を住民代表、産業界、大学、金融機関、労働団体など、各方面の皆さまのご協力をいただき、昨年10月に策定いたしました。

本総合戦略におきましては、目指すべき未来の観音寺をつくるため、観音寺の7つのアルファベットに対応する、「K（ケー）」子育て・教育、「A（エー）」安心、「N（エヌ）」にぎわい、「O（オー）」おもてなし、「N（エヌ）」ネットワーク、「J（ジェイ）」女性、「I（アイ）」いきがい、をキーワードとした7つの基本目標を掲げることといたしました。

新年度には、これらの目標の達成に向けて、まち・ひと・しごと創生のための具体的な施策や、新しい取り組みに着手してまいります。しかしながら、行政の力だけで地方の元気を取り戻すことはできません。市民の皆さまが、それぞれの分野で地方創生の担い手となって活躍していただき、官民が一体となって、新しい観音寺市の創生に向けた歩みを進めてまいりたいと考えております。

（平成28年度の地方創生に向けた取り組み）

それでは、地方創生に向け、「観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の7つの基本目標に基づき、平成28年度に取り組んでいく重点施策についてご説明いたします。

1点目は『子育てと教育に地域で取り組むまちづくり』であります。

私は、観音寺市の未来を担う子どもたちが健やかに育つ環境を整備することが、まちづくりの原点であると考え、県内他市に先がけて義務教育終了までの保険診療に係る自己負担額の無料化や、同時通園通所児童の就学前第2子以降の保育料無料化などの新たな子育て支援策に取り組んでまいりました。

新年度におきましては、これらの事業を継続することはもちろん、それらに加えて兄弟姉妹の年齢や世帯の所得に関係なく、現に扶養する第3子以降の保育料を完全に無料とする制度を独自に開始いたします。

また、保育への多様なニーズに柔軟に対応するため、退職後の経験豊富な保育士を活用し、一時預かりや保護者に対する保育相談、若い保育士に対するスキルアップ支援を実施してまいります。

さらに、乳幼児期に重症化しやすい、ロタウイルス胃腸炎を未然に防ぐため、ワクチン接種にかかる費用の補助を4月から開始いたします。

留守家庭の児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」につきましては、意欲的な民間の活力を取り入れるため、事業の実施要件を満たした事業者への補助を開始し、教室数の拡充を図ることで、今後の需要の拡大に備えてまいります。

また、「観音寺市立学校等再編基本方針」に基づき、柞田、一ノ谷、豊田の3幼稚園を統合する南部地区の幼稚園舎の整備につきましては、今年度に用地取得が完了し、新年度より造成工事に着手してまいります。平成31年度の開園に向けまして、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2点目は『安心して暮らし続けられるまちづくり』であります。

空き家の全国的な増加が懸念されているなかで、現在、本市では「空き家バンク制度」や「空き家リフォーム事業補助金制度」により、利用可能な空き家の活用を推進しているところです。しかし、適切な管理が行われておらず倒壊の危険性がある空き家の増加が、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、今後の自治体の対応が問われています。

この問題に市をあげて対応するべく、本年4月1日の施行に向けて「観音寺市空き家等対策の推進に関する条例」（案）を本議会に提案いたしております。

加えて、新年度において、市内全域における空き家等の実態調査を実施し、正確な状況把握を行ってまいります。

また、かねてより整備を進めておりました同報系デジタル防災行政無線につきましては、平成27年度中に屋外拡声子局の整備と防災拠点施設等への戸別受信機の設置が完了し、4月から運用を開始してまいります。新年度には、さらに情報伝達を確実なものにできるよう、土砂災害警戒区域の居住世帯や、情報伝達が難しい聴覚障がい者世帯等を対象として、戸別受信機の貸与を開始いたします。併せて、貸与対象世帯以外で設置を希望する方には、設置費用の一部を補助してまいります。

伊吹島におきましては、緊急に処置が必要な患者や、大規模災害時の緊急物資などの輸送時間の大幅な短縮を実現するため、防災ヘリポートを整備し、島民の安全・安心を守ってまいります。

3点目は『にぎわいあふれる豊かなまちづくり』であります。

「観音寺市人口ビジョン」策定時における分析で、市外への人口流出は、進学や就職を契機とした10代から20代の若年層において顕著であることが分かりました。この流れを食い止めるため、将来の観音寺市を担う世代が観音寺市で働きたい、観音寺市に帰りたい、住み続けたいと思えるようなまちの構築に取り組んでまいります。

まず第1に、若者が働きたいと思える就業環境づくりを行います。

総合戦略における産業活性化に向けて地域の連携を強化するため、昨年10月に地元の2つの金融機関と「地方創生に関する連携協定」を締結いたしました。今後も民間企業や大学等との連携協定の締結や協力体制の整備を進めてまいります。

また、就職を控えている高校生や大学生、UJIターン希望者に向けて市内の企業を紹介する「観音寺市合同企業説明会」につきましては、多くの企業のご協力をいただき、2月に初めて開催いたしました。新年度は、市内企業ガイドブックの作成や広域圏での説明会の開催など、さらに取り組みを強化してまいります。併せて、創業や6次産業化を支援するためのセミナーについても開催することとしております。

第2に、農林水産業への支援をよりいっそう強化してまいります。

観音寺市は、「伊吹いりこ」や「らりるれレタス」などをはじめとした高品質な農林水産物の宝庫です。これら「市の宝」を磨き、全国に向けて付加価値を付けて売り込むための観音寺ブランド認証制度を新たに創設し、ブランド認

証審査委員会において認証されたものを、観音寺ブランド認証産品として、情報発信し販売を促進してまいります。加えて、スーパーマーケット・トレードショー等への出店を後押しするなど、新しいマーケットを開拓するための支援を行ってまいります。

また、これまで「新規就農者活動支援事業」として、新規就農者に対して施設・機械等の購入経費を助成してまいりましたが、新たに定住支援に向けた賃貸住宅の家賃補助と住宅取得に対する購入費用の補助を開始し、市外からの新規就農者の移住・定住を促進してまいります。

第3に、新たな人の流れを生み、定住を促進するための取り組みを進めます。

観音寺市が持っているまちの優れた特徴をPRし、行ってみたい、住んでみたいと思ってもらえるよう、大都市圏におけるシティプロモーション事業を引き続き展開してまいります。

また、移住希望者に対しては、首都圏における移住相談会等において定期的な相談活動を継続してまいります。さらに、新たに定住の意思をもって転入する方に対し、賃貸住宅の家賃と契約時にかかる初期費用の補助を開始いたします。

新しいにぎわいの核となる新市民会館は、平成28年度内の竣工に向けて建設を進めているところであり、指定管理者の指定について本議会においてご審議いただくこととなっております。新年度は、平成29年4月の開館に向けて準備を進めてまいります。また、冠事業の実施や、市民会館の愛称募集などのプレ事業を実施し、開館への気運を盛り上げてまいります。



さらに、アートを中心とした文化芸術活動の拠点となる施設を整備し、市民会館と一体的な活用を行うことにより、文化芸術のエネルギーあふれるまちづくりに取り組んでまいります。

4点目は『おもてなしの心があふれるまちづくり』であります。

平成25年夏に開催された『瀬戸内国際芸術祭2013』では、会期中3万7,706人もの方に伊吹島を訪れていただき、アートをはじめ島の文化や自然を楽しんでいただくことができました。これもひとえに市民の皆さまが来場者を心から「おもてなし」していただいた賜物であると感謝申し上げます。

新年度に開催される伊吹島での『瀬戸内国際芸術祭2016』は、10月8日から11月6日までの30日間行われます。今回の芸術祭においても、市民が一丸となって「おもてなし」の心をもってお迎えができる体制づくりに努め、前回は上回る多くの方々に本市を訪れていただきたいと考えております。加えて、市内に滞在していただけるような仕掛けづくりについても、市民の皆さまと協働で取り組んでまいります。

また、観光による産業振興や地域の活性化の方向性を示す「観音寺市観光ビジョン」の策定に着手いたします。同時に、地域資源を活用した特産品や体験プログラムなど、観光交流に結びつく研究開発事業を進めてまいります。

さらに、インターネットによる情報発信力を強化するため、現在、市ホームページの全面リニューアルを行っているところですが、よりいっそう分かりやすい情報の提供に努めてまいります。また、フェイスブックやツイッター、ラ

ジオ番組など様々な媒体を通じ、皆さまに分かりやすい情報をタイムリーにお伝えしてまいります。

5点目は『ネットワークを活かした地域づくり』であります。

誰もがいきいきと暮らし続けることができる地域をつくるためには、人と人、地域と地域の絆をさらに強くし、豊かなコミュニティの形成を図ることが重要であります。

人と人が世代を越えて交流し、地域の絆を深める地域サロンにつきましては、地域の創意工夫にあふれた活動が市内全域に広がりを見せています。今後も新しいサロンの開設や事業の継続について、積極的に支援してまいります。

地域と地域を結ぶ重要な公共交通手段である「のりあいバス」につきましては、さらなる利便性の向上と効率化を図るため、運行計画の見直しを現在行っているところです。新年度には路線の大幅な見直しに加え、JR及び三豊市コミュニティバスとのスムーズな連携を行うための検討を進め、広域生活圏に対応した公共交通網の形成を図ってまいります。

また、市域・県域を越えたネットワークづくりのための広域連携事業にも積極的に取り組んでまいります。

愛媛県四国中央市及び徳島県三好市とのネットワークを形成している「四国まんなか交流協議会」においては、これまで「市長サミット」や「市民交流事業」の相互開催などにより交流を深めてまいりました。また2月には、新たな取り組みとして婚活事業を共同開催したところであります。新年度は、婚活事

業の開催回数を増やすとともに、新たに3市合同による移住フェアを共同開催し、四国中央圏域の活性化を図ってまいります。

6点目は『女性が輝くまちづくり』であります。

女性が家庭や地域、職場などのあらゆる場面で、いきいきと活躍できるまちづくりを推進することは、社会の在り方を変えるためにも重要であります。

平成26年3月に見直しを行った「観音寺市男女共同参画計画」に基づいた講演会や啓発活動を引き続き実施し、男女がともに支え合うまちづくりに努めてまいります。

また、女性がいきいきと活躍するためには、子育て期における不安を解消することが不可欠であることから、乳児家庭の全戸訪問や子育てホームヘルプサービス、ファミリー・サポート・センター、就学前児童親子相談事業などにおいて、きめ細かなサービスを提供してまいります。

7点目は『いきがいを持ち、健康で暮らせるまちづくり』であります。

誰もが生涯にわたり活躍し、活力あるまちをつくるためには、いきがいを持ち、健康的に暮らせる環境を整備することが、必要不可欠であります。

観音寺市総合運動公園の各施設は、老朽化が進んでいるものもあり、これまでも計画的に改修を実施してまいりましたが、新年度においては、陸上競技場のトラックを全天候型へ改修し、市内及び西讃地区の児童生徒や陸上愛好家が切磋琢磨し、いきいきと活躍できる施設を整備してまいります。

また、学校再編後活用されていない紀伊小学校校舎は、観音寺市の考古学、歴史学、民俗学及び自然科学などに関する資料を収集、展示し、地域の歴史や文化を次世代に伝える「ふるさと学芸館」として生まれ変わります。ここでは、地域の人材を講師に迎えて小中学生の体験学習や、幅広い世代の市民が参加できる教養学習講座などを開催し、人づくり、生きがいつくりの場としても活用してまいります。

(平成28年度に実施する総合振興計画後期基本計画に基づく事業)

次に、観音寺市総合振興計画後期基本計画で定める6つの基本目標に基づき実施する施策についてご説明いたします。

まず、基本目標1に掲げる「市民みんなで取り組む“地域協働のまちづくり”」についてであります。自治公民館の改修に係る費用の補助やNPO法人、ボランティア団体等の活動支援を行い、新しい時代に対応したコミュニティづくりに取り組んでまいります。

また、人権教育、人権啓発の推進につきましては、関係団体等と協力しながら各種の講演会や講座を開催し、正しい理解と認識を深める活動を推進してまいります。

次に、基本目標2に掲げる「安全・安心で“暮らしやすいまちづくり”」についてであります。南海トラフを震源とする巨大地震に備えるために、これまで実施してきた民間住宅の耐震改修への補助に加え、一定の安全性を確保するための住宅の簡易な改修に対する補助の新設と、市独自で実施してありまし

た耐震シェルター、耐震ベッドの設置について、国・県と連携して促進してまいります。

また、震災時のライフラインを確保するため、坂本跨線橋の落橋防止対策を計画的に実施してまいります。さらに、「橋梁長寿命化修繕計画」を見直し、市道に架かる360橋全ての修繕計画を策定いたします。

地域における防災拠点である消防屯所と消防自動車につきましては、計画的に更新を進めてまいります。

市街地の整備につきましては、都市計画道路中央七間橋線の全線開通に向けて整備を継続し、中心市街地における利便性や回遊性の向上を図ってまいります。

道路の整備につきましては、改築や舗装などを優先順位に基づき実施すると同時に、適切な維持管理に努めてまいります。

地籍調査につきましては、栗井地区において調査を実施しているところであり、今後も計画に沿った調査を進めてまいります。

伊吹航路につきましては、平成30年の就航を目指し、本格的に新船の建造に着手してまいります。また、観音寺港と伊吹漁港に設置する浮棧橋についても整備を進めてまいります。

次に、基本目標3に掲げる「思いやりあふれる“健康福祉のまちづくり”」についてであります。すべての市民が地域のなかで支え合い、安心して暮らし続けていけるよう、保健、医療、福祉の連携体制を確立してまいります。

保健・医療活動の充実については、健康・医療情報を活用した効果的かつ効

率的な保健事業の実施に向けて、現在「データヘルス計画」を策定しております。新年度は、生活習慣病の重症化予防事業などにも取り組み、市民の健康づくりと医療費の適正化に努めてまいります。

児童福祉と子育て支援の充実については、平成27年に策定した「観音寺市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、仕事と子育ての両立支援や多様化するニーズに対応した支援を行ってまいります。

高齢者福祉の充実については、要支援者等に対し地域の実情に応じた効果的かつ効率的な支援を行うため、「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」への円滑な移行を進め、きめ細かなサービスを提供してまいります。また、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。

障がい者福祉の充実については、本年4月1日に施行される「障害者差別解消法」を遵守し、障がいの有無により分け隔てられることのない社会の実現に向けて、相談窓口の開設や啓発などの体制づくりに取り組んでまいります。

また、生活保護業務についても適正に実施するほか、生活困窮者などへの支援も継続してまいります。

次に、基本目標4に掲げる「人と文化が輝く“生涯学習のまちづくり”」についてであります。昨年12月に策定いたしました「観音寺市教育大綱」に基づき、市民一人ひとりがいつでも、どこでも学び、高め合えるような教育施策を総合的に推進してまいります。

また、特別支援教育支援員の拡充やスクールソーシャルワーカーの新設など、

子どもたちへのきめ細やかなサポート体制の充実を図ってまいります。

次に、平和に寄与することを目的として、市民が体験した太平洋戦争の事実等をまとめる「戦争体験記」の編集を進めてまいります。

さらに、昨年10月7日に国指定史跡となった「大野原古墳群 椀貸塚古墳 平塚古墳 角塚古墳」については、全国に誇れる遺跡であることから、今後とも幅広い活用を図ってまいります。

次に、基本目標5に掲げる「海・山・川の自然輝く“快適環境のまちづくり”」についてであります。昨年12月に策定いたしました「観音寺市生活排水処理構想整備計画」に基づき、公共下水道や浄化槽、集落排水等の生活排水処理施設の整備と普及促進に努めてまいります。また、公共下水道整備計画の見直しにも着手してまいります。

ごみ収集及び処理については、分別の徹底と再資源化をさらに進めてまいります。

水道施設については、南海トラフを震源とする巨大地震に備えて、優先順位を定め、計画的に基幹管路等の耐震化工事を実施してまいります。また、雲岡配水池の更新事業にも取り組んでまいります。

さらに、県内全域での水道事業の統合に向け、香川県広域水道事業体設立準備協議会において、引き続き関係団体との協議を進めてまいります。

次に、基本目標6に掲げる「豊かな地域資源を生かした“いきいき産業のまちづくり”」についてであります。農業の振興につきましては、常磐地区における農用地等の浸水被害防止と農作物の被害軽減のための排水路整備に本格

的に着手してまいります。また、農業委員会において農地利用最適化推進委員を新たに委嘱し、耕作放棄地の発生防止や農地集積率の向上を図ると同時に、農業生産法人等による新規就農希望者の受け入れ態勢の整備や、支援制度の充実により、若い担い手の育成に積極的に取り組んでまいります。

次に、水産業の振興につきましては、魚種の保護育成を目的としたヒラメ、車エビ等の重要稚仔の放流を継続して行ってまいります。

これらの施策を進めるにあたっては、限られた財源のなかで、市民のニーズの多様化や社会経済情勢の変化に対応できる柔軟な行財政基盤を創りあげなくてはなりません。そのためには「量」から「質」への行政システムの再構築が必要であります。

今年度に策定いたしました「観音寺市第3次行政改革大綱」「観音寺市行政改革推進計画」を実行し、財政の健全化や行政サービスの更なる向上に取り組んでまいります。

また、公共施設の管理運営に係る基本的な方針である「観音寺市公共施設等総合管理計画」に基づき、長期的な視点で公共施設の削減、統廃合、長寿命化に取り組んでまいります。

さらに、ふるさと納税制度「がんばれ観音寺応援寄附金」につきましては、全国各地から多くの温かいご支援をいただいております、改めて感謝を申し上げます。新年度におきましては、クレジットカード決済の導入や、お礼の製品の大幅な見直しなど、皆さまがさらに利用しやすい制度となるよう、早期に見直しを図るとともに、自主財源の確保に努めてまいります。



(平成28年度の予算(案)について)

次に、平成28年度の予算(案)についてであります。歳入面では、地方消費税交付金が約2億円増の11億8千万円となる一方、主要財源である市税が約4億8千万円減の8億1千万円となるなど、一般財源総額で約3億4千万円の減額となる見込みであります。

一方、歳出面では、予算編成の段階から、一般財源ベースで予算要求基準を設けるとともに、ゼロベースからの積み上げによる歳出総額の抑制を図ったものの、扶助費をはじめとする義務的経費や、社会保障に係る給付費等の増加は避けられない状態であることに加え、大型プロジェクトである新市民会館及び観音寺市南部地区の統合幼稚園の建設や子育て支援施策の拡充、防災対策などの重点施策を推し進めていく必要があることから、一般会計当初予算は、前年度当初比13.1パーセント増の295億8千万円といたしました。

(むすびにあたって)

平成28年度は、観音寺市にとって、新しい10年の幕開けとなる年であります。

私は、市政の舵取り役として、それぞれの地域が持つまちの良さを磨きつつ、重点施策を推し進め、人口減少にも対応した持続可能なコンパクトシティの構築を実現してまいります。

さらに、「やさしさと、元気印のかんおんじ」を次の世代に自信を持って引き継ぐことができるよう、市民の皆さまと一緒に考え、実践し、失敗を恐れる

ことなく「挑戦」を続けてまいります。

最後に、議員各位並びに市民の皆さまの市政に対する格別のご理解とご協力を  
をお願い申し上げます、平成28年度における私の施政方針といたします。